

小須戸小学校

# 食育だより

令和3年7月21日

①

小須戸小学校

給食部



## 「キックオフ！ 小須戸の地場産物と活用法」

6月30日（水）小須戸中学校で「食育フォーラム」が行われました。

22名の保護者，小須戸小学校5，6年生74名，小須戸中学校1，2，3年生231名，そして，地域の方々が参加しました。

新潟市農業委員，新潟市食生活改善委員の佐藤千穂子様を講師に迎え，第一部では，佐藤様より「小須戸にある地場産物のよさ」について講演いただきました。

第二部では，「地場産物を活用する良さを地域や家庭に広めるアイデア」について小・中学生合同でグループ協議を行いました。どのグループも活発な協議が行われ，たくさんのアイデアが出されました。

2年間にわたる研究がいよいよ「キックオフ」となりました。一緒に考えたアイデアを地域に広め，小須戸をさらに盛り上げていくきっかけになると思います。

### 第一部 「小須戸にある地場産のよさ」

（講師 佐藤千穂子様）

#### <秋葉区・小須戸の農産物>

うららこすどの直売所では年間250～300の季節野菜・果物が並びます。小須戸は，大規模生産する農家が少なく，少量多品目を作る農家が多いです。

少量の野菜は市場に出荷できず，こすど市・白根・新津・五泉の市などに振り売りしてきました。ほかの地域でも作っているのに，なぜか小須戸のものはとてもよく売れるのです。



#### <小須戸の野菜が人気がある理由！！>

昔，信濃川がよく氾濫し，堤外地にある畑が水没し被害も出ましたが，土地が肥沃になり野菜作りに適していました。その土地を上手に利用して工夫し，その土地に合った作り方を努力して覚えてきました。

特に，横水地区は，化学肥料だけでなく，もみ殻堆肥，きのこ菌床，畜産農家さんからの発酵堆肥などを畑に入れ，土作りに取り組んできました。

そして，小須戸の野菜はなんといっても新鮮さが抜群です。朝，収穫したものがすぐ手に入ります。大切に育てた野菜には作り手のやさしい気持ちが入っています。それが買ってくださる人に伝わっているからだと思います。

## <女性農業者の声・・・地域活性化>

自分たちの作った新鮮でおいしい野菜をもっと多くの人たちに知ってもらい、食べてもらいたいとの要望がどんどんわいてきました。その方法として

- ① 学校給食センターへの納品
- ② 農産物直売所のオープン
- ③ 農産物加工所のオープン
- ④ 自分名義の口座開設で活力を出す



農家の子どもはもちろんですが、家庭菜園でとれた野菜は大切に食べてほしいですし、食べておいしかったことは必ず言葉に出して伝えてください。

## <体と健康について>

昔から自分の住んでいる4里四方(16キロ)の食べ物が一番自分に合っているとされてきました。地産地消にもつながり、健康によいとされていました。

### ◎ なぜ旬のものを食べるとよいのか。

- ① 太陽と大地からの最高の恵みを受けて育っているため、生命力が強く、香りやうまみが濃く、栄養価が高い
- ② 価格が安い
- ③ その時期、体が必要とする成分や効果があるので体が喜ぶ
- ④ 季節を楽しめる
- ⑤ 調理法・・・基本あまり手をかけなくても美味しい。味、香り、うまみが備わっている。

◎食の安全を守り、地域の自然と食文化を将来に繋いでいくためにも、地域の農業を守っていく必要があります。地域の農産物を作ってくれた人の思いを感じてしっかり食べてくれることにより、農家も頑張るし、農地も荒れることなく、緑豊かな田園風景が保たれ、小須戸の農業が受け継がれていきます。田んぼを渡る風のおいと涼しさは大切にしたいものです。

## 小学校・中学校取組発表

小学5年生は、これから学習する「米」について発表しました。「お米のできるまで」を調べたり、農家の方から生産者の思いを聞いたりしてお米の活用法などを学習する予定です。

小学6年生は、地場産物について調べたり生産者の方とのふれあいから学んだりしたことなどを発表しました。今後もたくさんのアイデアを出し合い学習を進めていく予定です。

中学校からは、給食委員会の食品ロス削減につながる盛り切り運動を全校体制で取り組んでいる様子が発表されました。



小学5年生



中学生 給食委員会



小学6年生

# 食育だより

②

小須戸小学校  
給食部



## 小中合同グループ協議

### 「地場産物を活用するよさを地域や家庭に 広げるアイデアを出し合おう」

第二部は小・中学校合同で24のグループに分かれて、協議を行いました。中学3年生がリーダーシップを発揮し、テーマに沿った活発な意見が出されました。小学生はあらかじめ、タブレットに自分の考えを書いて話し合いに参加していたので自分から進んで発表する姿が見られました。

各グループとも地場産物を活用するよさを地域や家庭に広げていくアイデアが出されました。



### ◎小須戸の地場産物のよさ <24グループから出た意見>

#### <食材について>

- ・新鮮 ・美味しい ・地産地消 ・栄養満点 ・地域産だから安心安全
- ・種類が豊富 ・信頼できる ・栄養価が高い ・体にいい
- ・親しみをもって美味しく食べられる ・旬の野菜が食べられる
- ・その土地の食材が食べられる ・すぐに加工ができる

#### <食文化について>

- ・安く買える ・地域に貢献できる ・自慢できる ・季節を楽しむ
- ・地域が活性化し地域の産業がうるおう ・誇りをもてる
- ・地域の伝統的な食文化を知ることができる ・料理の材料が分かる

#### <人や地域について>

- ・作った人や成分がわかる ・地域のことを知ることができる
- ・生産者が近くつながれる ・生産者が直接販売できる
- ・農家の応援になる ・調理法を教えてもらえる ・感謝できる
- ・作っている人の苦勞を知ることができる ・生産者の愛が伝わる
- ・地域の農業の状況を知ることができる ・地域が元気になる
- ・新しい発見がある

#### <環境について>

- ・私生活に欠かせない ・環境に優しい ・すぐ届く ・CO2削減
- ・遠いところまで運ぶ必要がない ・関心が高まる ・食品ロスが少ない

## ◎ 振り返りからの児童生徒の声

### < 小学校 5 年生の声 >

- ・小須戸には約250から300種類の地場産物があることを知ってびっくりしました。地場産物の活用法についてもしっかり考えることができてよかったです。
- ・感じたことは、いろいろな人が小須戸を大切にしていることや小須戸を広めていることです。学んだことは、季節ごとの野菜を知れたことと、赤、黄、緑の野菜を知れたことです。

### < 小学校 6 年生の声 >

- ・私たちがたくさん地場産物を食べることで生産者さん達の力になることが分かりました。小須戸地区の地場産物のよいところをいろいろな人に伝えていきたいと思いました。
- ・学んだことは、将来自分たちが小須戸の地場産物を守っていかなければならないということです。佐藤さんがどんどんお年寄りの農業の仕事をやっている人が減少していて若者が継ぐことを期待していると言っていたからです。

### < 中学校 1 年生の声 >

- ・佐藤さんの話を聞いて、小須戸には豊かな土地があり、作る人が心を込めて作っているところが地場産物のよさだなと思いました。
- ・講演会で佐藤さんの話を聞いて、小須戸は地場産物がたくさんあり、とても恵まれていると思いました。グループ協議では、自分では思いつかない地場産物のよさを知れてよかったし、よさを広める案についても考えることができました。

### < 中学校 2 年生の声 >

- ・小須戸の野菜が人気だと分かりました。これからは新鮮で安全な小須戸の野菜を買うようにしたいです。給食にも小須戸の野菜がださされていてありがたいなと思いました。  
これからも好き嫌いせずバランスよく食べたいです。
- ・佐藤さんの話をもとに班で意見を出し合いました。わたしの班では地場産物のよさを広めるためにポスターを作ってスーパーに貼るという意見が多かったです。本当にできる日がきたらいいなと思います。自分の意見もしっかり出せて、とても充実していてよい会になりました。

### < 中学 3 年生の声 >

- ・小須戸には自分がまだ知らない魅力や地場産物があることがわかりました。今回グループ協議で出た考え以外にもまだまだたくさんの方があると思うのでこれから生活していく中で考えていきたいです。地場産物のよさを感じてもらうためにも家の人に話していきたいです。
- ・小須戸は農家の人や地域の人が一丸となって地場産物のよさを伝えたり様々な工夫をしたりしてことが講演を聞いて分かった。僕たちも小須戸の一員として地域にどうしたら貢献できるのか考えていきたい。

中学校では、地場産物に興味・関心をもたせ、実体験を通して食を楽しむ力を育てていきます。小学校では、地場産物を通して地域活性化を目指します。